

5年生
総合的な学習

世界に広げよう「スマイル」「ハッピー」

指導計画

- 自分が「幸せだなあ」と感じる時を出し合い、「幸せ」とは何か話し合う。
- 写真を見て、カンボジアの生活の様子を知る。
- 地雷危険地帯に入ってしまったサッカーボールを取りに入り、左足を失った少年の話が書かれている、「A FOOTBALL IN THE BUSH」を読む。
- 「A FOOTBALL IN THE BUSH」の話をもとに、カンボジアの子どもたちが思う「幸せ」を考え、話し合う。
- 「世界がもし100人の村だったら」を読む。
- 世界にたくさんの「スマイル」「ハッピー」をつくるためにどうしたらよいか話し合う。



©鳥 奈穂 机にチョークで字を書いて勉強中

使用した教材

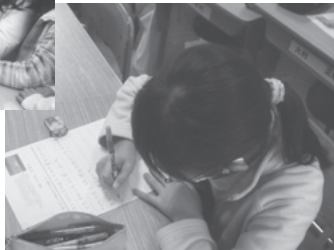
- ◆カンボジアで撮影した写真
- ◆地雷のビデオ(ユニセフカンボジア事務所製作)
- ◆「A FOOTBALL IN THE BUSH」(HANDICAP INTERNATIONAL)
- ◆「世界がもし100人の村だったら総集編」(著:池田 香代子 編集:マガジンハウス)
- ◆「ほんのすこしの勇気から」(監修:日本国連HCR協会 出版:求龍堂)
- ◆地雷のポスター(ユニセフカンボジア事務所製作)

学習目標

1. 本当の「幸せ」とは何か考える。
2. 学級目標である「思いやり」、「助け合い」、「スマイル」、「ハッピー」を世界に広げるために必要なことは何か考える。
3. そのために、自分ができることは何かを考える。



©鳥 奈穂
カンボジアの写真に興味津々



©鳥 奈穂
感じたこと・思ったことを書いてみる

学習展開

■「私たちの幸せ」について話し合い、「めあて」を立てる。

まず、自分たちが「幸せ」と感じるのはどんなときかを考えさせた。次に、子どもたちに発表させ、それぞれが感じる「幸せ」が異なることに気付かせた。その後、学級目標になっている「スマイル」、「ハッピー」をもっと増やすために、「世界中に『スマイル』『ハッピー』を広げるために大切な気持ちは何か考えよう。」というめあてを立てた。

「幸せ」とは・・・(一部抜粋)

- * 誕生日に欲しい物を買ってもらった。
「おめでとう」と言ってもらえた。
- * 家族でおいしいごはんを食べに行ったとき。
- * 出来ないことが出来るようになってほめられたとき。
- * 大会で優勝したとき。

■カンボジアの様子や現状を知り、カンボジアの人々の「幸せ」を考える。

スタディツアーで撮った写真をスライドで見せ、カンボジアの生活について伝えた。次に、絵本「A FOOTBALL IN THE BUSH」の読み聞かせをし、絵本の中のカンボジアの子どもたちの感じる「幸せ」とは何かを考えさせた。

カンボジアの子どもたちの「幸せ」とは・・・(一部抜粋)

- * みんなと安全に楽しくサッカーができること。
- * 助けてくれる仲間がいること。
- * 友だちに心配してもらったとき。 * 生きていること。
- * 家族がいること。 * みんなが笑顔でいること。

■世界中に「スマイル」、「ハッピー」を広げるために大切な気持ちは考える。

「世界がもし100人の村だったら総集編」、「ほんのすこしの勇気から」を読み、世界にはいろいろな国があることを学んだ。次に、難民やストリートチルドレン、自然災害による被害の状況を知り、本当の「幸せ」とは何かを考えさせた。その上で、世界中に「スマイル」「ハッピー」を広げるために大切な気持ちはどんなものがあるか考えさせた。

世界中に「スマイル」、「ハッピー」を広げるために大切な気持ちは・・・(一部抜粋)

- * 人を思いやる気持ち * お互いに助け合う気持ち
- * 感謝する気持ち * 友だちや家族を大切にすること

授業の感想・・・(一部抜粋)

- ぼくもサッカーが好きでよくするけれども、地雷の心配をすることはありません。そのことに感謝する気持ちは大事だと思いました。
- きびしい環境の中でもたくさんの笑顔があふれるカンボジアはずごいと思いました。
- 朝ご飯を食べられるのはふつう。家に屋根があるのはふつう。「ふつう」はふつうじゃないと思いました。ぼくの本当の幸せはたくさんの友だちに囲まれていることだと思いました。
- 一人一人を大切にして「思いやり」ことがクラスでも世界でも仲良くできる方法だと思いました。
- 私は「世界のみんながいつでも笑顔でいれる詩」を作りました。
世界のみんなが笑った
みんなの笑顔に みんなが笑った
みんなが楽しい みんながうれしい
そして、わたしがうれしくなる